

# 地域包括ケア病棟を知っていますか

地域包括ケア病棟 看護課長 宮崎木の実

聖隸佐倉市民病院の地域包括ケア病棟は2015年4月に開設し、2020年4月より増床して48床で運営しています。

## 地域包括ケア病棟とは…

急性期の治療が終了し、自宅や施設での生活に不安のある患者さんのために、在宅復帰に向けて診療・看護・リハビリを行い「元の生活の場に帰る」ことを準備するための病棟です。

在宅復帰をスムーズに行うために、主治医・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー・訪問看護師・事務などの多職種が連携して患者さんの退院支援を行っています。

### 《入院に適している方》

- 急性期治療後、もう少し症状の経過を見ながら元の生活の場に帰る準備を進めたい方
- 在宅復帰に向けたリハビリテーションを必要とする方
- 自宅の療養準備が必要な方
- レスパイト入院  
(一時的な在宅介護が困難な場合)

主治医の判断と入院判定会議を行い決定します。入院期間は**最長60日**となります。



### 《地域包括ケア病棟入院の留意点》

地域包括ケア病棟への入院は原則自宅など(特別養護老人ホーム、有料老人ホーム)へ退院できる方が対象となります。入院費用はリハビリテーション、投薬、注射、検査などの費用が含まれており、急性期病棟のような手術、高額な医薬品の使用、特殊な検査には対応できません。

症状の変化により主治医が治療の必要性を判断した場合には一般病棟に転棟することがあります。

### 《入院生活》

当院の地域包括ケア病棟では“**生活の場を大切に、ほっとできる心地よい環境で入院生活を送れる**”ことを目標に患者さんそれぞれの状態、退院の目標に合わせ活動できるよう、病棟にさくらルーム(デイルーム)を併設しています。地域包括ケア病棟に入院されている方ならコミュニティの場としてどなたでもご利用できます。個々の好きなこと(習字、手芸、将棋)や集団リハビリ(カラオケ・レクリエーション、嚥下体操)などに参加いただけるように準備しております。(※さくらルームは利用時間の制限をしている場合があります)

自宅復帰に不安を感じているご家族には、リハビリを見学していただいたり、患者さん、ご家族と担当者が集まり自宅での生活に向けた検討や調整を行っています。



## 難聴があると認知症になりやすい!?

認知症看護認定看護師 橋本悠子

最近では、認知症予防について様々な情報を耳にすることが増えています。皆さんは難聴が認知症の危険因子だということをご存じですか?難聴になることで、外部からの情報や刺激が減り、脳の萎縮や、神経細胞の弱まりが進み、それが認知症の発症に大きく影響するのです。また、難聴になることで、人とのコミュニケーションがうまくいかず、人と話す機会を避けるようになり、社会との繋がりが薄れてしまいます。このような社会からの孤立もまた認知症の危険因子となります。

さらに、高齢者の約1割には耳垢による難聴があり、認知機能の低下にも影響があるという研究結果もあります。認知症かと思ったら、耳垢がたまっていて聴こえていないだけだった、なんてこともあります。最近聴こえづらいなと感じたり、身近な方でもしかしたらよく聴こえていないのかも、と感じることがあったら、まずは耳鼻科で診てもらいましょう。耳垢の除去や補聴器をつけるなど、難聴への対処が認知症予防にも繋がります!!難聴とうまく付き合い、人の交流や社会との繋がりなど、楽しみを持ちながら、認知症も予防していきましょう。

図. 認知機能、耳垢、聴力の悪循環



引用: 杉浦彩子他:高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関係.日本老年医学会雑誌2012;49(3):325-329

## 糖尿病と感染症は関連する

内分泌代謝科 金原嘉之

糖尿病は、インスリンの働きが不足していることにより、血管の中のブドウ糖がきちんと処理しきれずに、だぶついてしまっている（血糖値が高くなっている）病気です。こうした状況では、感染症のリスクが上昇することをご紹介します。

図1のグラフをご覧ください。この研究では、さまざまな感染症へのかかりやすさを、1型糖尿病あるいは2型糖尿病の患者さんと非糖尿病患者さんで比較しています（1）。おのとの感染症について、1を超えていると、糖尿病患者さんのほうがかかりやすいということになるのですが、6種類のここに挙げた感染症すべてで1を超えてます。

次に図2のグラフを見てみましょう。これは、糖尿病患者さんにおいて、過去1～2か月の血糖値の平均値の指標であるヘモグロビンA1c（HbA1c）と、感染症へのかかりやすさ（何らかの感染症の治療薬の処方を受けたか）との関連をみた研究です（2）。HbA1cが7%を超えると、明らかに感染症へのかかりやすさが高まっており、糖尿病患者さんで、血糖値が高ければ高いほど感染症にかかりやすくなっていることがわかります。

糖尿病あるいはその疑いがあると指摘されてそのままにしていませんか？ 医師のもとでしっかり精査して、もし糖尿病あるいはその予備群（境界型糖尿病）と診断されたようでしたら、治療にとりかかるようにしましょう。

また、すでに糖尿病と診断されている方は、主治医の先生と連携しながら、血糖値を良く保つように治療をすすめるとともに、予防接種を受けるなどして感染症にかかる確率を少しでも下げるようにしていきましょう。

図1 糖尿病患者におけるかかりやすさ

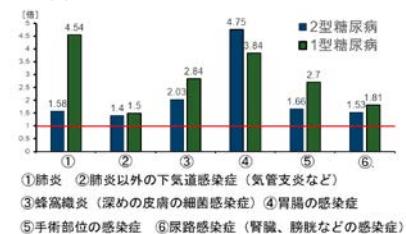
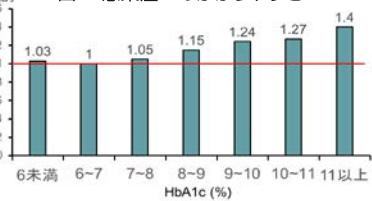


図2 感染症へのかかりやすさ



(1) Carey IM, ほか. Diabetes Care 2018; 41: 513-521.

(2) Critchley JA, ほか. Diabetes Care 2018,  
<https://doi.org/10.2337/dc18-0287>.

新型コロナウイルス  
COVID-19  
抗原定量検査  
はじめました

完全  
予約制

会社への提出や帰省を目的とした方が利用されています。  
対象 無症状の方  
料金 20,000円(税込)自費診療になります。  
検査日 月～木曜日(10:00～)  
結果 翌々営業日以降に郵送にてお知らせ

★詳しくは  
ホームページを  
ご確認ください。



お問い合わせ  
☎ 043-486-1155  
平日 8:30～17:00